

資料 1-2

## 令和5年度 事業総括表

# 令和5年度 嘉麻市立図書館事業総括表

【指定管理者 株式会社 図書館流通センター】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度 総括					
					Plan		Do		Check	
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	資料の収集整理	「嘉麻市立図書館資料収集方針及び選定基準」に基づき選書を行う	4月～3月	① 図書館資料の収集(選書等) ② 寄贈資料の受入れ ③ 受入資料の分類、データ入力、装備及び配架 ④ 予約本及び配本の処理 ⑤ 新聞の受入及び配架 ⑥ 書架の整理 ⑦ 破損・汚損・紛失資料の弁償処理 ⑧ 資料の補修 ⑨ 資料の除籍 ⑩ 蔵書点検 ⑪ 督促処理	○必要な装備のみとし、提供までの時間を短縮 ○除籍時期を統一。県内分担保存等の連絡調整を一括で行う ○重点収集のPRを定期的に行う ○蔵書点検時期と期間を見直し、利用者の利便性を向上させる ○新着資料を速やかに利用可能にするとともに、利用促進のため周知を行う	○資料の収集において、各館が掲げる重点分野の資料を選書収集し、さらに利活用促進を図る ○利用者のニーズに応じた、資料購入の予算配分を的確に行い、あらゆる世代に提供する ○学校団体貸出セットの充実と利活用促進のため学校等への周知活動を行う ○読書バリアフリー法により誰もが読書できる環境を整えるための資料(活字が配慮されている本、LLブック、デジタル資料など)の収集が必要	A
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	移動図書館車運営業務	運行計画表に基づき運行する	4月～3月	① 各ステーション(保育所(園)、幼稚園、学校、施設等)との連絡調整 ② 貸出・返却 ③ 運行計画表の作成・決定・報告 ④ 図書館カードの作成 ⑤ 資料の整理	○移動図書館車の運行基準を整備し、地域運行の整備や各施設への運行日程等の調整を行う ○ステーション毎の利用統計の現状を把握、分析し効率的な運用を行う ○運休連絡を1本化し前日までの連絡	○移動図書館車の効果的な運用の検討 ○地域のステーションの利用状況を把握し、ステーションや運行スケジュールを検討するための根拠となる内規等の作成が必要 ○移動図書館車の活動を周知する機会を増やす	A
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	カウンターサービス	高いホスピタリティを持ち、的確に行う	4月～3月	① 利用者登録・再発行、登録情報の変更、図書館を利用するにあたっての説明 ② 貸出・返却処理 ③ 予約・リクエストの受付及び処理 ④ 図書館カードの再発行受付及び処理 ⑤ レファレンス業務・資料相談 ⑥ 館内設置のインターネット利用端末、OPAC、来館者分析等の管理 ⑦ 資料の複写サービス ⑧ パンフレット等の整理整頓 ⑨ ブックポストの整理	○利用者(非来館者も含む)のセルフ利用を可能にする、見てわかる利用案内を作成し「使いやすい」図書館づくりを行う ○利用者アンケートを実施しサービス向上に努める ○レファレンス共同データベースへ参加。HPへリンクしレファレンスの周知を図る ○レファレンスサービスの利活用例を周知 ○スタッフのホスピタリティ、情報提供スキルの向上のための研修開催	○的確な利用案内や資料の提供を行い、利用者とのコミュニケーションを図る ○利用者アンケートを実施し利用者のニーズを把握しサービス向上に努める ○レファレンス共同データベースへ参加。HPへリンクしレファレンスの周知を図る ○レファレンスサービスの利活用の利活用促進	A
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	要望及び苦情の対応	各種要望・トラブル・苦情には迅速かつ誠実に対応する また、その内容・状況及び対応について速やかに教育委員会へ報告する	4月～3月	①各種要望・トラブル・苦情には迅速かつ誠実に対応し、内容・状況及び対応について速やかに教育委員会へ報告する	○見てわかる利用案内を作成し均一な説明を行う ○図書館アンケートを実施(インターネットでも同時実施)潜在的な要望の把握をし、サービス向上に努める ○苦情対応から学び、苦情予防に努める	○苦情対応から学び、苦情予防となる利用者対応を身につける	A
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	関係機関との連携・連絡	市及び教育委員会(所管課)と定期的な調整会議を実施する	4月～3月	①毎月会議を実施する		○議事を双方で事前に把握し、会議時間の短縮を図る	A

# 令和5年度 嘉麻市立図書館事業総括表

【指定管理者 株式会社 図書館流通センター】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度 総括					
					Plan		Do		Check	
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	職員研修	職員の資質の向上	4月～3月	① 館内研修の実施（eラーニング等） ＊スタッフの技術能力に応じた必修研修の受講 ＊ハラスメント、業務改善、コーチングなど役割に応じた研修 ② 福岡県立図書館等の外部研修に参加 ＊県立図書館の対面研修に参加し、スキルアップとネットワーク作りを行う ③ スキルアップによるやりがいの創出 ＊研修の機会を平等にし、知る機会を確保する ④ 安心安全な環境づくりと対応研修 ＊利用者のクレーム等に対する研修 ＊AED使用法の研修実施 ＊非常時の対応訓練実施	○業務によっては高いスキルを身につけるために外部研修も受講 ○eラーニングを用いた館内研修により接遇、業務改善から図書館スタッフとしての技術的研修をいつでも受講できる環境整備 ○AED使用法研修実施 ○障がい者や高齢者支援、ビジネス支援を進める ○県立図書館等が主催する外部研修に積極的に参加し、全スタッフへ情報共有のための報告を実施する	○誰でも読書を楽しむ環境づくりを行い、知識技術の向上を図る ○読書バリアフリー法に基づき生涯学習環境整備の推進 ○不審者対応、非常時対応の訓練実施	A
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子ども読書活動の支援	「嘉麻市子ども読書活動推進計画」に基づき、多くの子ども達に読書に親しんでもらえるよう資料の充実を図り、読書活動を支援する	4月～3月	① 定期的におはなし会を行う ② 読書週間にはスペシャルおはなし会を開催 ＊子どもの読書週間スペシャルおはなし会（4月～5月） ③ 年齢や興味に応じた資料を提供する ④ 子どもたちが本を選びやすい環境をつくる	○おはなし会への参加を待つだけでなく図書館から様々な施設へ出向いたおはなし会の実施 ○児童書書架にサインやPOPを新たに作成し魅力的な棚づくりを実施 ○短い周期の時事に合った展示替えを行い情報の鮮度を上げる	○定例のおはなし会にこだわらない読書支援 ○子どもが本を選びやすい棚づくり ○特集テーマや装飾に常に変化を加える	A
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタート	乳幼児から親子で本に親しみを持ってもらう	4月～3月	① 絵本を配布し、図書館利用に期待感を持ってもらう声かけを行う ② 絵本の力を多くの方に伝える資料を作成し広報する ③ 様々な年代への事業の周知	○母子保健係と連携し4か月児健診前からブックスタートを知ってもらう資料の配布を行う ○出産前から親子で絵本に親しむ機会づくり	○子育て支援として関わり、絵本の力を広く周知 ○周囲の大人に対する読書推進活動の充実を図る ○フォローアップ事業の充実	A

# 令和5年度 嘉麻市立図書館事業総括表

【指定管理者 株式会社 図書館流通センター】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度 総括					
					Plan	Do		Check		
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
9	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	行事・事業	図書館の利用促進とサービス向上を図るため、各種ボランティア団体等と協力し、教育委員会と協議の上、各種行事や事業を実施する	4月～3月	① おはなし工作会等の実施 ② 読書週間にはスペシャルおはなし会を開催 ③ 子どもの読書週間イベント開催 ④ 科学イベント(6月)の開催 ⑤ 夏の調べ学習講座開催 ⑥ 第1回嘉麻市図書館を使った調べる学習コンクール開催 ⑦ 秋の読書週間イベントの開催 ⑧ 講座等の実施 ⑨ 織田廣喜美術館とのコラボ企画 ⑩ 移動図書館車の活動の周知と地域イベントへの参加 ⑪ 除籍等資料譲渡会/年2回程度(春と秋の読書週間) ⑫ 公民館ときめき事業講師派遣と事業推進の取り組みに協力し、図書館からも発信を行う *夏休み、冬休み、春休みに開催されるときめき事業に出向き、ミニブックトークや工作、調べ学習支援を行う	○図書館来館の少ない世代をターゲットとしたイベントの実施 ○親子や家族で楽しむ読書手帳や読書マラソンの活用例を提案 ○地域イベントの実行委員会と連携した出張おはなし会や古本譲渡会の実施 ○自らの学びや気づきを発信できる場の提供を行う ○様々な年代で一緒に学び合う機会を持つことでコミュニケーション力の向上、文化の継承、相互理解の機会となるプログラムを用意する ○「図書館を使った調べる学習コンクール」地域コンクールを開催し、児童生徒が自ら調べることで生きる力・考える力を養う ○読書週間など全国でも様々な催しがある時期に嘉麻市でも同様の体験の機会を提供する ○講座の開催を定例化し、多様な対象に向けて楽しく役に立つ学びの機会を提供 ○織田廣喜美術館とのコラボで行う体験講座の実施 ○移動図書館車運行30周年を記念したイベントの実施 ○市民への更なる周知を行い、運行を行っていない地域での出張貸出などを実施 ○年2回一斉譲渡会を行い市民に除籍雑誌や書籍の提供を行う。また、市民の不要になった本の交換場所の提供を実施する	○図書館の利用が少ない年代へのアピールとイベントの計画 ○イベント参加から学びや仲間づくりの場と機会の創出 ○ボランティアや施設、団体と協力し、新しい体験ができる機会を増やす ○読書習慣の定着化を図るため、様々な機会を選択可能にする環境づくり ○イベント参加から学びや仲間づくりの場と機会の創出 ○ボランティアや施設、団体と協力し、新しい体験ができる機会を増やす ○様々な場所で開催されるイベントなどに図書館が関わりを持ち、図書館に関心を持つ市民を増やす ○固定化した利用から幅を広げるための講座、イベントの実施 ○講座の開催を定例化し定期的な来館を促す ○移動図書館車を活用し地域イベントに参加し図書館活動の周知 ○図書館資料の再利用を譲渡会で市民の学びの場を広く提供する	A
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	学校等との連携	① 図書館見学、調べ学習に対応する ② 職場体験学習を受け入れる ③ 図書館実習、インターンシップを受け入れる ④ 朝の読書活動、ブックトークの依頼を受け入れる	4月～3月	① 団体貸出の利用促進 ② 教科単元用資料の選書貸出 ③ ブックトークなど職員の派遣 ④ 見学、体験の受入れ ⑤ 児童・生徒等の読書意欲の向上を図り、学びに必要な情報、資料の提供を行う ⑥ 学校との連絡がスムーズにできるよう、利用案内を作成する ⑦ 図書館での活動を提案したり働きかける ⑧ 職場体験、インターンシップの受入れ ⑨ 高校との連携企画 ⑩ 学校からの依頼により、読み聞かせ、ブックトークを行う ⑪ 団体貸出の利用促進	○教科単元、学年に合わせた団体貸出セット本を作成し、リストを各学校、幼稚園、保育園へ配布し団体貸出の依頼しやすい環境整備を行う ○図書館を活用した学びの体験メニューの提案 ○職場体験のプログラムを作成し図書館の仕事を理解し体験できる提案を行う ○未来の司書の育成を目指し図書館の使命や業務を体験できるプログラムの提案を行う ○学校司書と市立図書館職員が情報交換や研修を行った ○複数教科で学習の導入として活用の提案 ○学校との連絡がスムーズにできるよう、利用案内を作成する	○授業单元にあわせた資料の提供時期の重複 ○学校司書が来館しての選書の簡略化 ○小学生対象の見学から体験学習へ、図書館を活用した様々な学びの提案、メニューの作成 ○中学生受入時の職場体験で実施するプログラムの提案 ○地域の高校と連携し受入時期の調整を行う ○高校ボランティアの受入体制の整備 ○大学等の実習生が自ら選び学ぶプログラムの作成 ○学校司書教諭及び学校司書との研修会の実施 ○団体貸出の利用促進	A

# 令和5年度 嘉麻市立図書館事業総括表

【指定管理者 株式会社 図書館流通センター】

番号	アクションプラン 主要施策	アクションプラン 施策内容	アクションプラン 事業名	個別事業名	令和5年度 総括					
					Plan		Do		Check	
					実施目標	実施時期	具体的内容	成果	課題	自己評価
11	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	相互貸借	福岡県立図書館、県内外の図書館との資料の相互貸借を行う	4月～3月	① 相互貸借先の検索、相手方への借受確認 ② 資料相互貸借カードの作成 ③ 借受先への借受依頼、連絡調整 ④ 他自治体図書館からの相互貸借申込書の受領、当該資料の確保、借受先への貸出処理 ⑤ 相互貸借資料の発送（借受分返却及び貸出分） ⑥ 福岡県立図書館の指定館受取・返却サービスの窓口受付	○借受館の資料に添付されているバーコードを利用した業務簡略化の実施 ○県内の図書館と協力し郷土資料の保存と資料の有効活用を行う	○相互貸借関係作業の簡略化 ○県立図書館との情報共有や情報交換の実施 ○市民向けの県立図書館の利活用の周知	A
12	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	団体貸出	読書活動推進	4月～3月	① 登録、貸出、返却、配本、回収、督促等を行う ② 選書の支援を行う	○施設の要望に合わせた団体貸出セットの提案や配本計画の実施	○利用する団体の限定化 ○市内各施設等への利用広報の促進	A
13	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	関係機関との連携・連絡	① 関係機関との連携・連絡を適切に行う ② 嘉飯圏域定住自立圏形成協定に基づく圏域内図書館相互利用に関する協定に伴う連携等を把握し適切に対応する	4月～3月	① 市内保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校、高等学校や近隣の大学等と連携・連絡をとり、ニーズの把握や情報提供を行う ② 飯塚市、桂川町に住所を有する方に、資料の貸出を行う	○「知の拠点」として様々な利用者のニーズを把握するためにアンケートの協力依頼 ○有効な利活用についての希望等の把握 ○2市1町での広報及びイベント等の開催	○連携する機関と相互交流を行い、資料やサービスなどの要望や、利用状況の把握が必要 ○2市1町の相互利用の促進	A
14	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	広報活動と各種情報の提供	施設の広報や情報提供のため、市広報誌、図書館だより等の必要な媒体の作成、配布を含めた戦略的広報活動に取り組む	4月～3月	① 市広報誌への掲載 ② 図書館ホームページの更新 ③ フェイスブックの更新 ④ 地域情報誌等への図書館のPR ⑤ 図書館だよりの作成、配布 ⑥ 嘉麻市ケーブルTV放送からの取材 ⑦ 西日本新聞の司書おすすめ本への原稿提出	○イベントのPRだけでなく本の紹介や展示案内など幅広く情報を発信 ○スピード感と読みやすさに重点を置いた広報の実践 ○メディア別に対象を絞った広報活動を実施 ○伝わる広報のためのスキルアップ研修実施	○広報内容の偏り ○内容や対象別に広報の工夫検討が必要 ○目的や対象を絞った広報戦略の検討 ○伝わる広報のためのスキルアップ研修実施	A
15	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3) 図書館の利用促進	③ 図書ボランティア養成及び活動支援事業	図書館関係ボランティアの育成及び支援	新規ボランティアの育成に努めるとともに、各種団体・個人と連携を図り支援する	新規ボランティアの育成講座／年一回程度  スキルアップのための研修／年一回程度	① 新規個人ボランティア向け育成講座の実施 ② ボランティアのスキルアップのための研修・講座等の実施 ③ 読み聞かせ等のボランティア活動機会の提供	○図書館と美術館のボランティア育成を一緒に行なう ○4月新規募集開始、育成講座受講後に活動を行う ○ボランティアによる自主活動支援 ○活動時間数に対する表彰等 ○特別整理期間のボランティア活動受入れ	○ボランティア活動の場の提供 ○新規ボランティアの育成 ○市民主導で文化を育てるためのボランティア活動の場を創出	A